

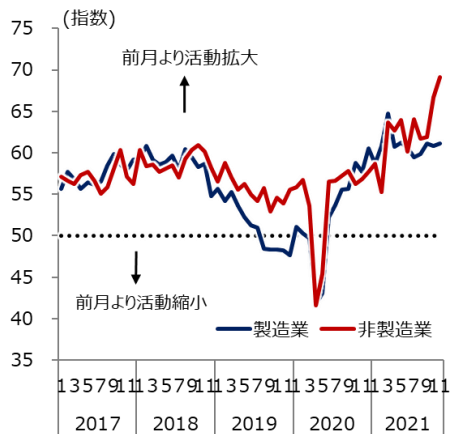
米国

ISM景況指数（2021年11月）

供給制約とインフレ圧力は継続も、製造業では緩和の兆し

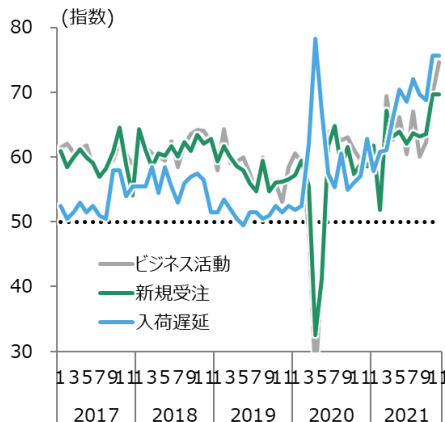
政策・経済センター
田中高大
03-6858-2717

1 ISM景況指数（総合）



注：調査項目について、前月と比べ「改善・変化なし・悪化」の3択で行った企業アンケート結果を加重平均して算出。
出所：Institute for Supply Management®

2 非製造業の内訳指数

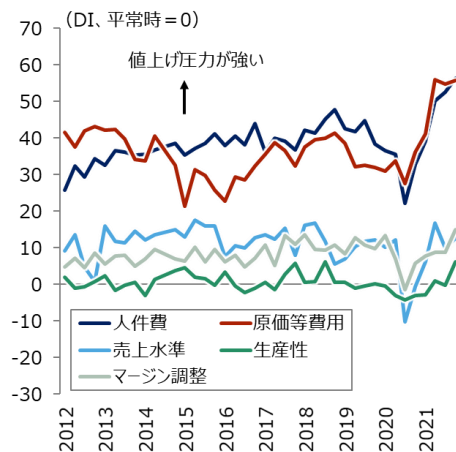


出所：Institute for Supply Management®

評価ポイント

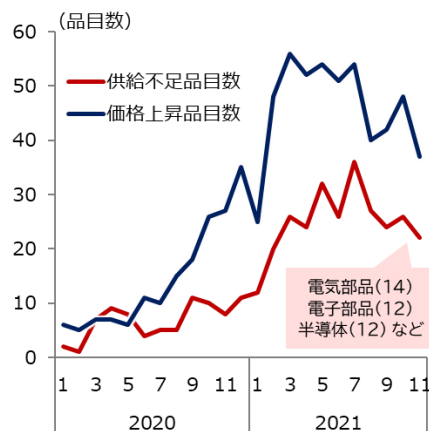
今回の結果

- 21年11月のISM製造業景況指数は61.1と前月から上昇した。項目別に見ると、新規受注（61.5）や生産（61.5）、雇用（53.3）が上昇、入荷遅延（72.2）や仕入価格（82.4）は高水準ではあるものの、前月から低下した。
- ISM非製造業景況指数は69.1と前月から上昇、過去最高を更新した。項目別に見ると、ビジネス活動（74.6）、新規受注（69.7）が過去最高水準となり力強い需要を示す一方で、入荷遅延（75.7）も過去2番目の水準でとどまっており、需要に供給が追いついていない状態が続いている（図表2）。
- 非製造業を業種別に見ると、18業種全てで活動拡大が報告された。特に、不動産・賃貸や運輸・倉庫、小売で力強い活動拡大となった。

3 企業の値上げ圧力要素
（アトランタ連銀管轄内）

出所：アトランタ連銀 “Business Inflation Expectations”

4 供給不足・価格上昇品目数



注：製造業における不足/価格上昇品目数。吹き出しの括弧内は何か月連続で不足しているかを示す。
出所：Institute for Supply Management®

基調判断と今後の流れ

- 企業活動は、力強い需要に供給が追いつかない状態が続いており、それに伴いインフレ圧力も強い状態が続いている。アトランタ連銀が管轄区域内の企業を対象に11月に実施した調査では、人件費や原材料価格が物価押し上げ圧力となっていると回答した企業が過去最高を記録した（図表3）。
- ただ、製造業では材料・部品の供給制約が緩和しているとの指摘がいくつか見られた。供給不足・価格上昇品目数を見ても、電気部品や半導体など部品系の供給制約は継続しているものの、素材系を中心に減少傾向にある（図表4）。供給制約とそれに伴うインフレ圧力は当面続くものの、サービス需要への回帰が進むなか、峠は越えた可能性がある。
- 一方で、新たな変異株であるオミクロン株など、米国内外で冬場の感染拡大懸念が高まっていることが先行きのリスクとなる。米国内では感染忌避や保育の必要性などから、失業者の復職が遅れることで人手不足が長期化する恐れがある。また、アフリカ諸国など一部新興国でも感染が再拡大し始めており、グローバルサプライチェーンを通じた供給制約が波及することが懸念される。